

## 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

### 【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	救急車現場出発時の物損事故事案
3. 体験した事例の中心的要素	傷病者を車内収容後、進入してきた私道が狭隘であったため、現場離脱のため敷地内に駐車してある家人の車両を移動し、救急車を転回するのが最良と判断。機関員を運転席に、隊員が傷病者の観察を実施し、隊長が安全管理のため誘導に入った。家人が車両移動を開始し、救急車に接近してきたため、声掛けと車両の窓を叩きながら停車を促すも停車せず、そのまま救急車に衝突したものの。
4. 体験した事例の原因・理由	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車両転回場所に障害となる車両等があり移動してもらった場合、必要に応じて予め自車を後退する等の、事故の未然防止が図れていなかった。</li> <li>・相手方の心情等を考慮ができていなかった。</li> <li>・隊長のみの誘導のため、安全管理不足。</li> </ul>

### 【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。(大丈夫だろうと思った。)
------------------	------------------------------

### 【体験した事例について】

1. 発生日時	令和1年9月21日 午後8時頃
2. 発生した当時の天候	曇り
3. 発生した活動現場	屋外: 救急要請者の自宅敷地内
4. 体験した事例の種類	
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	交通事故
7. 事例体験時の活動	救急現場活動中期
8. (7の活動中)どのような作業中に発生したか	その他: 現場出発時
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[45]歳、勤続年数[25]年、現場経験年数[25]年、階級[消防司令補] 同様の活動 [初めて]、任務 [車長]
○当事者B	年齢[34]歳、勤続年数[9]年、現場経験年数[9]年、階級[消防士長] 同様の活動 [初めて]、任務 [機関員]
○当事者C	年齢[22]歳、勤続年数[1]年、現場経験年数[1]年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [隊員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	現場離脱のため、Bに運転、Cに病者の観察を指示し、家人の車と救急車の誘導	
経過2	当事者B	車両運転	
経過3	当事者C	病者観察	
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



- 事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？
- ヒヤリハットの場合: ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

危険情報を把握、予見できなかった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

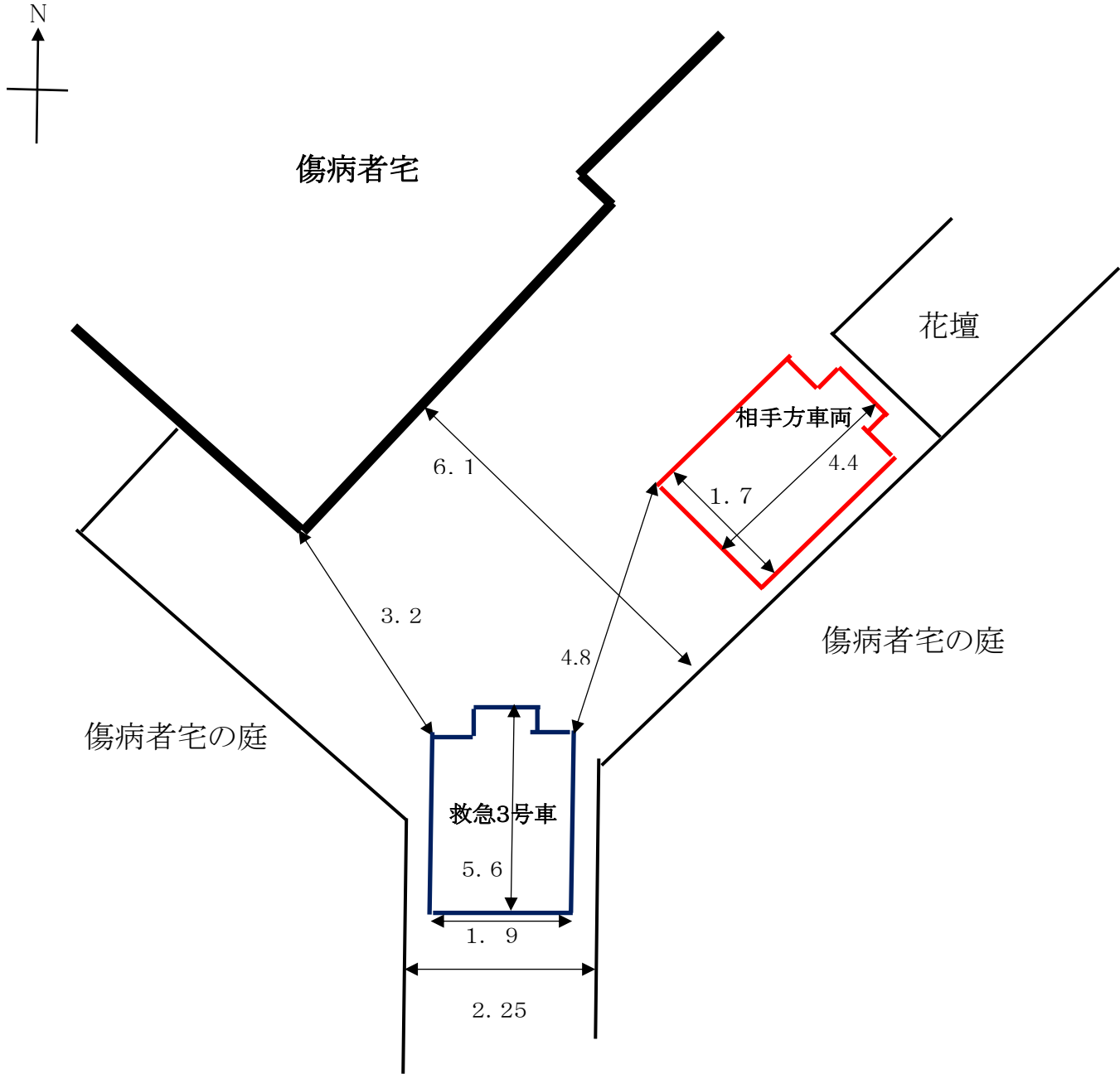
○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

- ・狭隘路へ進入する場合は、進入先に車両が転回できる場所があることを確認すること。
- ・車両転回場所に障害となる車両等があり移動してもらった場合、必要に応じて予め自車を後退する等して、事故の未然防止を図る。
- ・各種事故現場にて関係者に車両等の移動を依頼する場合は、相手方の心情等を考慮すること。
- ・乗車員全員で安全運転と安全確認を徹底する

○指揮・情報伝達の対策について

# 現場詳細図



単位:m